

令和3年度事業計画書

サイバーシルクロード八王子

サイバーシルクロード八王子は平成13年10月、八王子市長の私的諮問機関「八王子市地域産業振興会議」の提言を受けて、八王子市と八王子商工会議所の連携により設立され、数多くの中小企業支援を行ってきた。

本年度は当会設立20年の節目を迎える。従来の実績の成果と仕組みを活かした企業間連携や、これまでの創業事業に加えて、起業家の様々なステージに対応するため、研修機会を増やし積極的に事業を実施する。

また、新産業創出に向けて農商工連携と異業種交流、ものづくり企業支援、加えて若年層への雇用支援と企業情報誌発刊を行い広報活動にも注力する。

①中小企業の人材育成・雇用の推進

- ◆今年で14期目を迎える後継者育成事業「はちおうじ未来塾」を引き続き開催し、中小企業後継者のスキルアップを図る。
- ◆ビジネスお助け隊の支援による「本気の創業塾」を開催し、新産業創出を促進する。また、多摩信用金庫、日本政策金融公庫、八王子市との連携事業である「起業家応援プロジェクト」を多面的に推進し、今後市場の増加が見込まれる「コミュニティビジネス」をソフト面、またハード面から支援する。
加えて、「本気の創業塾」とは区別して、年2回程度、スモールビジネスに特化した創業塾や女性専用の創業塾を開催し、創業機会と雇用創出を目指す。
- ◆人材育成事業を卒業した人材を積極的にフォローする。たとえば、未来塾は個別企業のつなぎこみやHFA事業との連携、スキルアップ研修など、また創業塾では、卒業生向けの相談会やフォローアップ研修の開催や女性部会である「リリエ」の活動支援を行う。
- ◆教育機関や関係団体と連携し、若年層に向けて中小企業の魅力を伝える出前展示会や出前講座の実施、企業情報誌の制作・配布を行い、雇用を視野に入れた事業を推進する。

②スマート農業・農産物ブランド化の推進

- ◆昨年に引き続き、JA八王子や八王子市農林課・獣害対策課とも連携を図り、JA八王子青壮年部所属会員や他の農業生産者との懇談を重ね、課題解決に向けた取組みを模索する。
- ◆昨今、八王子農業生産者の重要な課題である「獣害対策」、「生産力向上」にスマート農業を活用する。これら課題解決にあたっては市内ものづくり企業や専門教育機関、行政と連携を図り、検討会や実証実験を行い対策にあたる。
- ◆八王子農産物のブランド化を目指すため、八王子パッションフルーツやその他農産物を地域企業と連携を図り、6次産業化をはじめ、商業・サービス業による加工商品として提供できるよう普及活動を行う。

③産学連携事業の推進

- ◆八王子ITネットワークを改組した新たな異業種交流の場「サイバー・ビジネス研究会」

では業種業界にとらわれない出会いとビジネスチャンスを提供する。

- ◆ITの専門部署を持たない中小企業のほか、IoT導入に関心のある中小企業に対し、IT全般にわたる相談対応やスキルアップ研修を実施する。
- ◆多様な技術を持つ八王子ものづくり企業連携のもと、ロボットやドローン等を活用した新事業の取組みを検討する。

⑤リアルな出会いの場「交流広場」(ブルームセンター)の運営

- ◆人材発掘、ネットワークの形成、横のつながりから生まれる事業機会の育成や起業家に対する各種支援情報の交換と提供を具体的に行うための交流拠点として、利便性を生かした運営を行う。
- ◆勉強会の開催や会員企業の打合せ、人材育成事業をはじめとしたサイバーシルクロード事業の開催、多摩信用金庫との連携、市内各インキュベーション施設の情報提供等、さらにソフト面を充実させる。

⑥地域企業・当会活動の周知・情報発信、地域間連携の推進

- ◆バーチャルな出会いの場と当会活動の情報発信、事業者向け施策情報等を提供するため、積極的なメーリングリスト活用を図る。
- ◆当会ホームページを通じ、活動の周知や会員の募集、市内のオンリーワン企業の紹介、ビジネス支援情報等を外部へ発信し、企業の受発注や地域間連携推進を図る。

⑦その他、新産業創出に関する事業

令和 3 年度収支予算（案）

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 3 1 日

サイバーシルクロード八王子

（ 収 入 の 部 ）

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
負 担 金	8,660,000	八王子市より 事業費：6,510,000 施設管理費等：2,150,000
	1,340,000	商工会議所より
補 助 金	1,000,000	多摩信用金庫より
懇 親 会 費	500,000	事業報告会、人材育成事業等交流会費等
雑 収 入	1,500,000	未来塾・創業塾受講料、PF関連収入
合 計	13,000,000	

（ 支 出 の 部 ）

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
会議・運営事業費	7,000,000	事務員給与、会議、通信費、印刷、消耗品 車両経費等
次世代育成 起業家創出事業費	3,600,000	未来塾、創業塾開催経費、雇用創出 事業
新事業展開事業費	2,300,000	農商工連携、ビジネス研究会事業、も のづくり活性化事業、情報誌発行等
予 備 費	100,000	
合 計	13,000,000	